

だての郷通信



ひびき 令和3年4月号

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 生活介護事業所 **だての郷**

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 TEL024-576-7799 FAX024-576-7815

4月の主な行事

- 4月1日(木) 辞令交付式・理事長訓示
永年勤続職員表彰式
- 3日(土) 土曜利用日
- 15日(木) 報奨金支給
- 16日(金) ジュース購入日
- 21日(水) 誕生会
- 28日(水) 春の歩こう会

4月生まれの皆さん

お誕生日おめでとうございます

齋藤幸大さん(4月20日生まれ)
谷津貴之さん(4月22日生まれ)
大槻美里さん(4月28日生まれ)
みなさん おめでとうございます。今月の誕生会は、
21日(水)に予定しています。お楽しみに!

心の癒しに！ スヌーズレン導入



静かなスペースでリラックス



光の変化も楽しめます

だての郷にスヌーズレン装置が入りました。これは国から新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金をいただいて購入したもので、3月8日より分室をスヌーズレンルームに改装して利用しています。

スヌーズレンは、障がいのある方自身が、自分自身の時間を自分自身の選択で活動できる場を提供することによって、生活の質を高めることを目的としています。ミラーボール、光るシリンダー、バブルタワーなどがあり、光や音等から様々な感覚刺激を受けることができます。リラックスできる環境で環境内の何かに気づいたり、受け入れたりする活動ができます。支援効果や治療効果を求めるものではなく、あくまでご本人自身がリラックスして気持ちよく過ごしていただくためのものなので、このスペースでの過ごし方はご本人自身で決めて過ごすようになります。現在、多くの利用者さんが体験しています。来所の際、お立ち寄りください。

ごあいさつ

新年度がスタートしました。社会福祉法人あぶくま福祉会吉田理事長、だての郷保護者会谷津会長、中木施設長より、新年度にあたってごあいさつを申し上げます。



令和3年度のスタートにあたって



社会福祉法人あぶくま福祉会
理事長 吉田 修次郎

桜花爛漫、過ごしやすい季節となりました。温暖化の影響でしょうか、桜の花だよりが年々早くなっており、施設の敷地内にある桜の花も、このお便りが皆さんのお手元に届く頃には満開に咲き誇っているものと思います。利用者の皆さんにとっては、外での活動が楽しみな季節を迎えました。

昨年は、新型コロナウイルス感染防止の対策に明け暮れた一年であったように思います。自粛、巣ごもり、3密回避、ソーシャルディスタンス、クラスター等コロナ関連用語が次々生まれ、私たちの生活も一変してしまいました。そして、1年過ぎた現在もこの状況は解消されることなく続いております。

これまで当法人の利用者・職員から一人の感染者も出さず来たのも皆さんご協力のお陰と感謝申し上げます。今後とも感染者を出さない様手洗い、消毒、マスク着用等を徹底して施設運営を致しますので、よろしくをお願いします。

さて、令和3年度は、昨年取得したほどはら授産所南側の用地を造成しハウス建設、駐車場整備等の工事が始まります。利用者の皆さんが事故にあわない様、工事関係者に注意し、職員には利用者の安全に配慮し、より厳しく目配り・気配りして支援するよう指導してまいりたいと考えております。

また、だての郷事務所の奥に相談支援事業所「よつば」を開設します。利用者がサービス等を適切に受けられるよう相談・計画の作成等行います。

更に今年度は、ワゴン車を購入し送迎システムの見直しを行います。これまで2台のマイクロバスを使用して送迎を行ってききましたが、準備が整い次第ワゴン車による個別送迎に切り替えます。特に要望の強かっただての郷から順次体制が整い次第に実施したいと考えております。ほどはら授産所の利用者については、バス送迎希望もあることから、今後状況を見極めながら順次実施したいと考えております。

これら新規事業は、初めから完璧な100%運営は出来ないかもしれませんが、今年度は“先ず一步を踏み出してみる”一年であると考えております。

また、今までだての郷の分室作業所として使用していた部屋は、現在スヌーズレン装置を設置し、利用者の皆さんの不安状態解消のための常設部屋となっております。皆さんが不安状態になったときに心落ち着かせる「癒しの空間」となっております。是非保護者の皆さんも一度見学し、イライラした時等に少しの時間この空間で心落ち着かせてみては如何でしょうか。

私たち福祉の仕事はコロナの時代であっても、一般企業のようにオンラインやリモート、ソーシャルディスタンスでの仕事はできません。これからも社会福祉法人の使命である「地域に開かれた施設」として地域貢献、公益事業の実施と共に「利用者のための施設」として努力をしてまいりたいと思っておりますので、保護者の皆様には、ご理解ご支援を頂きますようお願い申し上げます、新年度スタートにあたってのご挨拶といたします。



新年度を迎えるにあたって

だての郷保護者会

会長 谷 津 絹 子

爛漫の花に彩られて新しい季節が巡り、吾妻山の雪うさぎもくっきりと見えてきました。

昭和60年の調査で雪うさぎの大きさは、耳の長さが84メートルで、頭から尻までの長さは341メートルあるそうです。改めて、偉大さを感じさせられます。

新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明の中、新たな新年度がスタートすることになりました。昨年やりたかった多くの事業が実現できない日々が気持ち焦ることもありました。

「焦らず、深く考え、根気よく問題に対処する」ことに徹しようと自分の心を励ましています。

以前から提案させていただいていた個別送迎の件について昨年度通勤バス運行委員会にて多くの委員の方から前向きな方向が示され、施設から早い時期に一部個別送迎を開始予定と報告をいただきました。保護者会会員も高齢化が進んでおり、希望者全員の個別送迎を推進して頂きたいと思っております。

また、今年2月13日の午後11時07分ごろ、国見町6強、伊達市、福島市、桑折町6弱の地震に見舞われました。深夜ということもあり身動き出来ず大変だったと思っております。「天災は忘れたころにやってくる」ということわざ通りになりました。常に備えは必要と実感させられました。施設でも定期的に避難訓練をさせていただいているおかげで、利用者もどのように行動すればいいのか身についていると思っております。繰り返し行うことは大切なことだと認識しました。災害時には援助が必要な方のために「ヘルプマークやヘルプカード」を持参していれば支援も受けやすくなるので備えていただきたいと思います。

今年の保護者会活動も会員が一堂に集まるのは難しいと思っておりますので、役員会を開催して保護者会の方がたのお声をお聞きしたいと思っております。職員の皆さんともなかなか直接お話しする機会が少ないので、コミュニケーションが取れないのが現状です。連絡帳を利用して、質問、疑問、問題点を伝えていただき、利用者の笑顔が見られ、安心安全に施設を利用していただきたいと思います。

私も保護者会の会長として皆さんのお役に立ちたいと思っておりますので、困りごとがありましたらご一報いただければ幸いです。

結びに、「何事もあきらめず、今できることをしっかりやっていきたい」、これを新年度の思いとして掲げ、ごあいさつとさせていただきます。

充実した1年に

だての郷施設長 中 木 雅 彦

新年度を迎えました。小職も着任以来2年9か月がたちました。毎日、利用者の皆さん、保護者の皆さん、職員の皆さんとコミュニケーションを深めながら、施設運営をしております。利用者さんがうれしいことや楽しいことは2倍に、悲しいこと、つらいことは半分にしてあげて皆で分かち合いながら過ごしております。利用者さんのため充実した支援ができるよう一日の活動計画を基本に、1週間の目標や月単位の計画をスケジュール化し、1年経過し充実した内容だったと評価していただけるよう、日々努力し職員一丸となって頑張っております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 だての郷事業計画

だての郷

管理者 高橋健二

昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて、衛生管理に注意し、だての郷に関わる全ての人の安全安心を第一に支援を進めていきたいと考えております。日々の利用者の方の健康管理について、検温とマスクの着用、手洗いなどは、引き続きご家庭でのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

支援体制は、昨年度後半からの2グループ体制を今年度もとってまいります。チームで支援にあたらせていただくことにより、ご本人様の思いや変化に細やかに対応できるものと考えております。

日々の活動については、ご本人様の気持ちに寄り添いながら、小さなことでも新たなことへ取り組むきっかけ作りをそれぞれに提案していきたいと思っております。

行事について、これからは以前のような形の開催は難しいところですが、今後の状況を見極めながら、新しい生活様式にそった方法で実施していきたいと考えております。保護者の方の参加協力いただく際は、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今年度も職員一丸となって、利用者みなさまが笑顔で過ごすことができるよう取り組んでまいりますので、利用者と保護者みなさま重ね重ねよろしくお願いいたします。

◎主な年間行事

実施月	主な行事	実施月	主な行事
4月	春の散策会	10月	あぶくま祭 さつまいも収穫 焼いも大会
5月	さつまいも植え	11月	秋の散策会 生活習慣病検診
6月	ゴミ拾い（公益的事業）	12月	クリスマス会 忘年会
7月	外食体験 早朝奉仕作業 法人創立記念日	1月	初詣（ミニドライブ） 新年を祝う会
8月	社会体験会（ジェラートのつどい）	2月	節分のつどい（豆まき） バレンタインデー
9月	日帰り旅行会 交通安全教室	3月	ホワイトデー 内科検診

◎毎日の行事

朝の会 散歩（歩行訓練） ラジオ体操 あぶくま福祉会の歌合唱 帰りの会

◎毎月の行事

ミニドライブ 避難訓練 ジュース購入 ダンス教室 誕生会 体重・血圧測定

◎年間随時

公益的取り組み（地域町内会との連携、講師派遣、バス貸し出し等） 利用者自治会運営
保護者会運営

内科検診行っ

3月8日、だての郷の利用者さんの内科検診を行いました。当日は、だての郷嘱託医をお願いしている福島松が丘病院院長 山本俊昭先生が来てくださり、利用者さんの内科的な健康状態を診ていただきました。また嘱託看護師の野村富子さんにも来ていただき、毎月の定期的な健康チェックの情報をもとに、利用者さんの日々の健康状態を山本先生に伝えていただきました。

利用者さんたちは順番を守り、山本先生の診察を緊張した面持ちで受けていました。検診結果は保護者様にお知らせしたところです。ご家庭でも利用者さんの健康管理に役立ててください。

新型コロナウイルス感染症はいまだに猛威を奮っており油断できない状態ですので、感染予防のため、施設では利用者さんのマスク着用を促しています。散歩のときは野外活動で未着用でも許せるところではありますが、施設内は着用が望ましく今後も周知していきますので、ご家庭でのお話もよろしくお願いします。

お楽しみ会開く！



プリンをいただく利用者さんたち(写真上、右)



2月24日、お楽しみ会を開きました。例月第4水曜日は誕生会の日ですが、当月は該当者がなく、「お楽しみ会」として集いをもちました。

当日は、いつもの散歩から帰って、10時半のおやつに合わせて、プリンをいただきました。誕生日をお祝いする人はいませんでしたが、みなさん誕生会気分でおやつのひとときを過ごしていました。

職員の声

義父のこだま



だての郷
支援員 佐藤 史江

ある日、4年前に亡くなった義父が妻の介護をしていた頃の手記を見つけました。

その内容とは、

“70を過ぎた私でも介護ができたのは、ヘルパーさん、訪問看護師さん、いつでも来てくれる先生など皆様に感謝している。5年くらいは仕事をしながらも介護はできていたが、それから車いすになり、在宅介護になり、そこからは失敗の繰り返し。本人も大変だったと思う。私がイラつくと相手もイラつく。私が良くしてやると素直に受け入れてくれる。まるで【こだまのように】”（一部抜粋）

義父は金子みすゞさんの詩『**こだま**でしょうか』をととても気に入っていました。

「遊ぼう」っていうと「遊ぼう」っていう。

「馬鹿」っていうと「馬鹿」っていう。

「もう遊ばない」っていうと「もう遊ばない」っていう。

そうして、あとでさみしくなって、

「ごめんね」っていうと「ごめんね」っていう。

こだまでしょうか、いいえ 誰でも。

「介護もそのまま返ってくる」

と私に話してくれた事を思い出します。相手を思いやり、介護に懸命に携わって実感した人にしか言えない、とても重く深い言葉でした。

たった一言で人は傷つく、たった一言で人はほほえむ。

自分が優しく話しかければ、きっと相手も穏やかに答えを返してくれる。

義父のようにあの言葉が言い切れるだろうか…。もう一度詩を読み返し、相手の思いをこだまする、温かいこだまが返ってくるような自分でいられるよう心がけていきたいと思いました。そして、義父のこだまが皆さんの心にも響きますように……。

ほどはら授産所 授産品 トイレットペーパー 販売中

シングル・150mの芯なしトイレットペーパー

価格1ヶ92円（消費税込）



厚紙の芯の代わりに空筒があり、ほとんどのペーパーホルダーに設置可能です。

交換回数を読ませます。

ぜひお試しください。

ご自宅・事業所まで配達もいたします。

100個以上お買い上げの場合、1個当り87円（税込み）で頒布いたします。ご注文は、電話、FAX、または郵便でどうぞ。1週間以内にお届けいたします。

ご注文、お求めは、

障がい者就労継続支援B型事業所 **ほどはら授産所** 
（伊達市保原町字中瀬町100番地） TEL / FAX 024（575）4355

新年度に向け 理事会 評議員会開く



理事会開会にあたりあいさつする吉田理事長



木谷評議員を議長に慎重審議する評議員の皆様

3月11日、令和3年当法人第1回理事会をほどはら授産所食堂休憩室において行いました。会議に先立ち、当日、東日本大震災から10年を迎えたことから、出席者全員で犠牲となられた方がたへ黙祷をささげました。

会議では、報告2件と議案9件が審議されました

報告は、社会福祉充実残額の執行状況と、理事長及び業務執行理事の執務状況の2件でした。議案は、ほどはら授産所、だての郷、グループホームスクラムの管理運営規程の新たな制定、経理規程の一部改正、公印管理規程の一部改正、令和2年度補正予算、令和3年度事業計画、令和3年度予算など9件が審議されました。

特に令和3年度から新たに相談支援事業所の開設、徐々にではあるが個別送迎移行の予定などがあることから、活発な意見、質問が交わされました。審議の結果、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

3月23日、令和3年当法人第1回評議員会を同じくほどはら授産所食堂休憩室で行いました。審議案件は、理事会で可決された内容で、いずれの報告、議案も原案のとおり可決されました。

相談支援事業所よつば

4月からスタートへ

あぶくま福祉会では昨年制定した相談支援事業所運営規程により、今年初めから「相談支援事業所よつば」の開設準備をすすめてまいりました。おかげさまで、本年4月1日からだての郷事務室東側スペースを相談室に構え、事業開始となりました。

当面管理者（兼任）と専任相談員、事務員（兼任）の体制で運営してまいります。利用者様のなかで当所をご希望の方は、次回更新時等切り替えの際にお申し出ください。当法人4番目の拠点となりグループホーム開設以来の新規事業実施となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

すし竹さんへ御礼に伺う



御礼メッセージプレートをお届けした大橋さん（左）と萩原さん

節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹様へ、両施設の利用者代表が御礼にすし竹赤橋店へ伺いました。

店先で大竹社長様と鈴木店長様に御礼のメッセージプレートと、吉田理事長からの御礼状をお渡ししました。

編集後記 /四月春爛漫、今年度事業実施に向け心弾む時期であります。今年も新型コロナウイルス感染症のため、先行き不安な日々が続いています。感染者数が地方で拡大しているニュースが流れ、当地でもそうなったら大変という危機意識を常に持ちながら施設運営をしています。▼感染予防は、手洗いうがいの励行からと言われていきます。特に手洗いが大事です。手の汚れを落とすだけで、ウイルスがほぼ除去され、予防効果がアップします。汚い手で不用意に顔を触ると、ウイルスを体に取り込むことになるので、触らないよう気をつけてください。▼3つの密に加え、5つの場面に気をつけて、基本的なことを心掛け、みんなで感染予防に努めたいと思います。詳しくは1月臨時号をご覧ください。▼毎日利用者さんが楽しく施設で過ごせるよう、今年も2班体制で支援してまいります。また今年個別送迎を一部地区先行して行う予定になっています。詳しくは後日決まり次第、皆様にお知らせいたします。令和3年度も保護者の皆様の温かいご理解・ご協力よろしくお願いいたします。(M)